



キャンドルフェスティバル

■11月15日、枕崎商工会議所女性会の主催で、駅前広場で開催されました。来場者は、市内保育園・幼稚園の園児が作った灯籠のやさしい光に心癒されていました。



フシロックフェスティバル

■11月24日の「いいふしの日」にちなみ、11月23日に地場センターで開催されました。バンド演奏のほか音楽に合わせたカッオの解体ショーや鯉節に関するトークショーなどがありました。



さわやかウォーキング

■11月28日に開催され、153人が参加しました。参加者は3*と6.2*のコースに分かれ、それぞれのペースで市内の景色を楽しみながら歩き、さわやかな汗を流しました。



第1回市立病院健康フェスティバル

■11月28日、「冬を乗り切る免疫力アップ対策」をテーマに市立病院で開催されました。来場者は家庭でできる対策等について、職員からのアドバイスを興味深く聞き、理解を深めていました。



警察官が寸劇で被害防止を呼び掛ける ～枕崎警察署が劇団「かつお武士」結成

枕崎警察署の地域課員が劇団「かつお武士」を結成し、11月22日、別府小学校体育館で初公演を行いました。この日は、別府校区の高齢者を対象に振り込み詐欺と交通事故防止を呼びかける内容の寸劇を披露しました。地域課長の吉嶺桂さんは「今回初めての公演でしたが、皆さんにすごく喜んでいただけてよかったです。これからも練習を重ねて、市内各地区で披露できればいいなと思っています」と話していました。



濱田徹一さんと田野尻則夫さんが受章 ～平成27年秋の叙勲、危険業務従事者叙勲

平成27年秋の叙勲が発表され、濱田徹一さん(写真、西本町・79)が瑞宝単光章を受章しました。濱田さんは、昭和37年に本市消防団西分団(現在の中央分団)に入団。平成19年4月には中央分団副分団長に就任し、平成22年3月の退団まで第一線で災害の防止や被害の軽減など地域の安全・安心のためにご尽力されてきました。濱田さんは「先輩や後輩たちとともに、長年頑張ってきた結果かなと思います。常に私を支えてくれた妻にも心から感謝してます」と話していました。また、危険性の高い業務に長年貢献した人に贈られる第25回危険業務従事者叙勲が発表され、田野尻則夫さん(立神本町・65)が瑞宝単光章を受章しました。田野尻さんは、昭和55年に海上保安庁に入庁。警備救難業務に長年従事され、海上における治安の維持や海上交通の安全確保などに貢献されてきました。田野尻さんは「私たちは緊急時に家を空けることになるので、その時に家庭を守ってくれた妻に対する感謝の表彰じゃないかと思っています」と話していました。

100歳おめでとうございます ～板敷スキさん(板敷本町)

板敷スキさんが12月4日、めでたく100歳の誕生日を迎え、市と市社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。板敷さんは料理が得意で、現在もみそ汁などを自分で作ったりしています。長寿の秘訣は、体操番組などを見ながら体操をするなど、体を動かしていたことだそうです。これからも元気で長生きしてください。



第33回近畿枕崎会総会を開催 ～投稿者：近畿枕崎会会長 豊田久男さん

11月22日、大阪天満橋のキャッスルホテル「錦城閣」で、第33回近畿枕崎会総会を開催しました。会員や出身者をはじめ、枕崎市長や枕崎市議会議員、ふるさと枕崎会の仲間たちなど、総勢94名が参加しました。南浜館で開催された戦後70周年企画写真展のDVD上映の後、総会、懇親会と進めていきました。懇親会は薩摩酒造提供の焼酎で乾杯。枕崎市漁業協同組合提供のぶえん鯉&たたきと松野下蒲鉾提供のつけあげを肴に、初めて参加する人を含め大いに盛り上がりました。結成から33年を過ぎているにも関わらず、近畿枕崎会があるのも知らなかったとの声もあり、今後はフェイスブック等を通じて存在を知っていただきたいです。最後は枕崎の企業、団体からいただいた景品を抽選会でゲットして、「来年もおがな」と声を掛け合いながら家路につきました。



本市出身3選手が全国制覇を目指す ～第94回全国高校サッカー選手権大会

本市出身で鹿児島城西高校3年の生駒稀生くん、松野下晃平くん、1年の生駒仁くんが、第94回全国高校サッカー選手権大会に県代表として出場します。12月1日には、3選手と小久保悟監督、同校の秋武達朗校長が市役所を訪れ、神園市長に出場の報告をしました。兄弟の生駒稀生くんと生駒仁くんは「1日1勝で優勝したい」、松野下晃平くんは「チームのために点を取りたい」と力強く意気込みを話していました。



「コンカツ給食」が登場 ～11月24日「いいふしの日」にちなんだ給食

11月24日の「いいふしの日」に合わせ、11月25日、市内の小・中学校の給食で鯉節と昆布で出汁をとった「コンカツすまし汁」と「鯉大トロ丼」をアレンジした料理が登場しました。別府小学校では、出汁や鯉節について教諭から説明があり、児童は理解を深めた後、給食を笑顔で頬張っていました。また、児童らがコンカツプロジェクトを盛り上げようと、ソーラン節と鯉節にちなんだ曲に合わせて作ったオリジナルの踊りも披露されました。